

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市若松区向洋町10番1

団体名 株式会社ウエルクリエイト

代表者 中原 信子

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	かぶしきがいしゃ うえるくりえいと	
団体名	株式会社ウエルクリエイト	
(ふりがな)	なかはら のぶこ	
代表者氏名	中原 信子	
所在地	市内事業所	北九州市若松区 向洋町10番1
	主たる事業所	
事業概要	●食品残渣を資源化するノウハウと技術を活用し、食のリサイクルループを形成。地域食品資源循環ソリューションを全国に展開。 ●可視光応答型光触媒の技術革新を行い、安全安心な室内環境を実現する環境改善製品の開発。	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種（企業のみ）	サービス業（他に分類されないもの）	
従業員数（企業のみ）	21～50人	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	https://www.well-c.co.jp	

連絡先

担当部署	業務管理部
担当者	桶田 亜貴子
電話番号	093-752-5300
メールアドレス	ymatsuo@well-c.co.jp

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み

SDGs達成に向けた取組状況 (チェックシート)

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のある	最も関連性のある
				ゴール	ターゲット	指標		ゴール・ターゲット	「北九州市SDG未来都市計画」の指標や取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)	エコタウン事業認定制度					ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール9	
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R (リデュース、リユース、リサイクル) を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)	エコタウン事業認定制度					ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール12	
3	事業に伴う調達 (原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等) について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 { サプライチェーン管理 }	エコタウン事業認定制度					ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール13	経済 (2) ④
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)	北九州市環境未来技術開発助成制度					ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール12	
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)	北九州エコプレミアム選定制度					ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール9	
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 { 労働環境整備 }					タイムカードの管理により労働時間を正確に把握。 所定の有給休暇のほかパステイ休暇、リフレッシュ休暇を取り入れたり、フレックスタイム制の導入などにより社員のワーク・ライフ・バランスの充実を図っている。	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール8	
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 { ジェンダー平等 }					女性経営者による独自の多面的な視点を生かして、ビジネス展開をしている。 外国人の従業員雇用、高齢者の積極的活用などすでに多様な職場環境の構築に取り組んでいる。	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール5	
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 { ハラスメント防止 }					パワハラ防止法など、ハラスメントに関する法令を遵守している。	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8			ゴール8	
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					自社製品を活用した感染症対策の推進。 従業員に対して、定期的に健康診断を実施している。	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール3	
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受け入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					サーキュラーエコノミー研修やフォークリフトの免許取得など技術向上のためのバックアップ体制の充実を図っている。また、市内外、海外から様々な団体の視察や研修を受け入れているほか、出前授業で子供向け食育・環境教育も行っている。	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール4	
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)	北九州市入札参加資格有資格者名簿への登録					ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5				ゴール16	
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV (※) などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					持続可能な事業活動にいくために、SDGsの考え方を取り入れた経営計画を策定し事業戦略を構築している。	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール12	経済 (4) ①
								ターゲット	具体的な取組
								12.6	

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言日 令和3年9月22日

団体名 株式会社ウエルクリエイト

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs 達成に向けた取組方針等

弊社は、「社会へ貢献する企業である」という企業理念のもと、2030年のSDGsの達成年に持続可能な消費と生産パターンを全国及び世界に普及させ、すべての人に健康と福祉を実現できるよう、SDGsの取組を推進してまいります。

◆ SDGs 達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野 に「○」	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	指標 (KPI) ・ 目標値		最も関連性のある 「北九州市SDGs 未来都市計画」の 指標や取組 ※どちらか一方のみの 記載で構いません。
		※目標値は、いずれかの目標年で 設定してください。		
経済 ○	廃棄ゴミ・廃棄コスト・排出されるCO ₂ を削減し、食品残渣を活用しながら安全な野菜をつくる食のリサイクルループを形成、地域食品資源循環ソリューションを普及させる。さらに炭化技術の導入によりリサイクルの裾野を拡大させる。	指標 (KPI)	食品残渣のリサイクル量	指標
社会 ○		目標値		具体的な取組
環境 ○		2023年 (その他の場合) ()年	2020年10万ト/年 ↓ 2023年18万ト/年	
経済 ○	可視光応答型光触媒の技術革新を行い、抗ウイルス他多機能を有する「エアウォッシュフローリング」を中心に、安全で安心な室内環境を実現している。さらにフローリング基材の全量国産針葉樹化を達成しており、SDGsに貢献すると共に日本の針葉樹山地問題解決に寄与する。	指標 (KPI)	エアウォッシュフローリングの導入状況	指標
社会 ○		目標値		具体的な取組
環境 ○		2023年 (その他の場合) ()年	2020年42万坪/年 ↓ 2023年100万坪/年	
経済 ○	北九州エコタウンリサイクルセンターでは、国内外からの様々な団体の視察や研修を受け入れ、技術の普及と人材の育成を図っている。さらに地域の子ども向けの食育・環境教育のための出前授業や社会科見学の対応も行っている。	指標 (KPI)	国内外からの視察受け入れ者数	指標
社会 ○		目標値		具体的な取組
環境 ○		2023年 (その他の場合) ()年	2019年2,345名 ↓ 2023年3,000名	

記載について

- ・ 「SDGs 達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- ・ 必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- ・ 指標 (KPI) は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団 体 名 株式会社ウエルクリエイト

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
99 その他（市と連携した取組み）	<p>「SDGsソーシャルファーム」事業計画策定 北九州市が抱える様々な問題を、福祉×農業×環境×企業×行政×情報通信技術の相乗効果により解決する取組みで、現在北九州市、社会福祉法人などとともに事業計画を策定中。具体的には、北九州市内にサテライトオフィス機能を持たせた太陽光発電及び蓄電池を活用した施設を設置し、障がい者や高齢者が働き手となり食品残渣堆肥を活用した有機農業を行い、これら関係者が農業生産物の消費者となる地域循環共生圏の形成を目標としている。 (7.2) (8.7) (12.3) 【2022年4月取組開始予定】</p>
99 その他（市と連携した取組み）	<p>「再エネ100%北九州モデル」への参加 再エネ100%電力エコタウンを目指して再エネ100%電力に切り替え、脱炭素社会実現への貢献をしていく。(7.2) 【2021年12月取組開始予定】</p>
99 その他（市と連携した取組み）	<p>「北九州循環経済研究会」への参加 北九州環境ビジネス推進会が母体となった北九州循環経済研究会に参加している。「明日の北九州の環境産業ビジョン」策定をテーマとしており、「社会循環」「自然循環」「エネルギー循環」を軸に北九州サーキュラーエコノミーを実装した北九州循環インダストリアルパーク構想実施をめざしている。 (7.2) (9.1) (9.4) (12.5) (17.17) 【2019年8月より取組中】</p>

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。